

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 2 月 28 日

事業所名 放課後等デイサービスくれよん/Conte

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	十分にスペースはとれている。	
	2	職員の配置数は適切である	8	0	適切であり、職員に負担がいかない様配慮されている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	1	室内はすべてバリアフリーである。 スロープを設置している。 多少段差はあるが他は良い。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	0	3ヶ月目標や週1、月1会議などを通してできている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	毎年アンケート調査にご協力いただき、その中で出た保護者からの意見について話し合い業務改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	ホームページで毎年公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	0	社労士さんや中小企業診断士さんにアドバイスをもらっている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	月1の社内研修会や外部への研修にも参加している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	保護者にアセスメントを行い、職員間で情報共有を行いながら、計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	アセスメント表に基づきアセスメントを行っている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	月1会議や週1ミーティングを行い、チームで立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	したいこと等も子供の意見もとり入れて、季節に合わせて、活動を計画している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	8	0	平日、休日、長期休暇に合わせて、活動内容を考慮している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	個別支援計画は子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を計画書に取り入れている。 職員同士で話しながら課題を明確化にして計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	支援の内容や役割分担について確認するようにしている。 打ち合わせに出れない時も、大事なことは共有できるようにホワイトボードに書いている。 朝礼で確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	終礼時に振り返りや気付いたことは共有できている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	業務日誌、子どもの様子を記録にとり、提供記録を残す。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	半年に1回の計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	8	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	日々、子どもと接している職員が参加している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8	0	学校との情報共有、連絡調整は密にとれている。	必要に応じて、子どもの様子など学校に電話をして聞く。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	7	該当者はいない	すぐに受け入れられるよう、対応マニュアルを作成する。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	学校を卒業した後も先生に相談にきたり手伝いにきたりして、寄りどころになっている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8		コロナ渦のため、外部との交流はない。新型コロナウイルスの感染が落ち着き次第、交流を検討していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	8		新型コロナウイルスの感染が落ち着き次第、積極的に参加したい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	送迎時や面談希望を聞き、話を伺っている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8	0	保護者会を行ない、専門家を交えて、質疑応答の場を設けている。		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	見学や契約時、または、個別に保護者との時間を取り、説明している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	毎月、面談を希望する保護者からの相談に応じている。 相談された時は助言を行い、持ち帰り事業所全体でも話しあっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0	保護者参加の研修会等を開催している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0	他の職員に共有し返答した内容もすぐに共有できている。 苦情があった時は、すぐに対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	月1回の通信や週1回のブログを更新して子どもの様子や行事を知らせている。	
	35	個人情報に十分注意している	8	0	個人情報に関するものは、事務所のカギのかかる書庫へ保管している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	L I N E だけでなく電話をして伝えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	0	事業所の行事に地域住民を招待している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8	0		マニュアルは作成しているが、全保護者への伝達は十分にできていない。 保護者会などで周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	定期的に避難訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	虐待防止研修に参加。虐待防止委員会を設置している。 社内でも定期的に研修を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	7	該当者がいない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	アレルギーの有無は確認しているが、該当者がいないので医師の指示書などはない。	該当者がいる場合は、書類等を用意し対応する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	ヒヤリハットを作成後、回覧で職員間の共有を行い、再発防止に努める。	